

発達支援コラム③

こどものはったつ相談室

第3回テーマ 「子どもと 愛着関係を 築くためには」



毎日の子育てが少しでも楽になるよう、小川小学校の通級指導教室「まなびの教室」教諭 森 亜矢子先生によるコラムを6回にわたり連載しています。

問合先 こども相談センター

☎626-1165 ☎626-2187

して、この子どもたちの養育者の特徴を調べてみると、子どもの感情や要求に応じ、遊びやスキンシップを楽しむタイプであったのです。

このことから、愛着関係を築くためには、『応答的な対応』『共感的な対応』『スキンシップ』が大切であるということがわかりますよね。子どもの活動を温かく見守り、「嬉しいねえ」「楽しいねえ」「悔しかったねえ」と心に寄り添った声掛けをしてあげてください。子どものエネルギーがなくなつた時にはたくさん甘えさせてあげてください。

人は、失敗した時や傷ついた時に帰ることができるところがあることで、未知なるものに挑戦していくことができると言われています。子どもが安心して自立していけるように、私たちは子どもにとっての心の居場所『安全基地』でありたいものです。

スキンシップの方法

スキンシップはとても効果的ですが、子どもを抱きしめることが苦手な方もいると思います。そういう方は、一緒にお風

どんなに立派な家でも、地盤がグラグラだと崩れてしまいますよね。人間形成においての地盤は『基本的信頼感』と『愛着』だと言われています。愛着とは、養育者との情緒的な結びつき、確固たる絆のことです。この地盤の形成が、その後の人生に大きく影響を与えます。

愛着の発達を調べる方法

愛着の発達を調べる方

法として、『養育者との分離、見知らぬ人の導入、養育者との再会』に対する子どもの反応を観察する『ストレンジシチュエーション法』があります。この方法で、不安や回避、怒りなど、さまざまな表れを見ることができます。安定した子どもたちは、分離時に多少の混乱を示すものの、再会時には素直に喜び、「抱っこして！」と積極的に身体的接触を求めます。そ

